

いいんざい

12.15

No. 677
平成 22年
(2010)

■毎月2回 1日・15日発行
■発行 印西市 ■編集 秘書広報課広報広聴班
■〒270-1396 千葉県印西市大森2364-2
☎0476@5111(代) FAX0476@7242
■ホームページアドレス <http://www.city.inzai.chiba.jp/>
■電子メールアドレス home@ml.city.inzai.chiba.jp

人口と世帯	人口	…… 90,422人 (+122)
	男	…… 44,966人 (+68)
	女	…… 45,456人 (+54)
	世帯	…… 32,801世帯 (+64)
	—平成22年12月1日現在— () 内は前月との比較	



▶観衆を沸かせた印西市消防団の機敏な操法演技

◀会場には印西市消防団をはじめ、全国の消防団を応援するのほりが立ち並びました



▼千葉県の代表として開会式に臨む



今回の小型ポンプの部は、23の都府県の代表が出場。5番目に登場した印西市消防団は、海岸沿い特有の会場の強風の中ででの演技となりました

出場した選手たちは、6月6日の支団内選考会にむけて、4月下旬から操法訓練を開始。4年前の全国大会には、同じ分団の第12部(吉田地区)が出場していたこともあり、訓練開始当初から、全国大会出場を目標に、週5日以上、訓練を積み重ねてきました。その結果、支団内選考会を勝ち抜き、7月の支部操法大会、県操法大会と優勝し、ついに全国大会の場に立つこととなりました。

印西市消防団が全国消防操法大会に出場

全力の操法演技で

敢闘賞を受賞

去る11月12日、愛知県蒲郡市で開催された第22回全国消防操法大会の小型ポンプの部に、千葉県代表として印西市消防団印旛支団第4分団第10部(大廻・造谷地区)が出場しました。

が、長期間にわたる訓練成果を発揮し、満足の得る操法演技を披露しました。しかしながら、ホース結部が外れるアクシデントに見舞われ、惜しくも上位入賞は逃しましたが、敢闘賞を受賞しました。

【出場選手】(敬称略)
指揮者 吉野雅夫
1番員 櫻井智之
2番員 栗原正明
3番員 櫻井秀哉
補助員 櫻井修一
選手のみなさんは「訓練を指導していただいた教官や、手伝いをしてくれた消防団の仲間や、訓練以外の場でも支えてくださった地元のみなさんのおかげで貴重な体験をすることができました。応援していただいた全てのみなさんに感謝いたします」と語りました。

小林北小学校が創立20周年



▲来賓や地域のみなさんの参列のもと、記念式典が盛大に行われました

去る11月7日、小林北小学校で創立記念式典が催されました。小林北小学校は、小林地区の開発に伴う児童の増加により、平成3年4月に印西町立小林小学校から分離し、開校されました。現在の児童数は199人で、「気持ちのやさしい子、たっぷり運動する子、根気よく学ぶ子」をスローガンとして、特色ある教育に取り組んでいます。学校環境の整備や子ども守り隊の存在など、地域力の強

い学区に見守られています。式典では、実行委員会から小島学校長に、記念品の学校用具が贈呈されました。また、記念映像が上映され、在校児童が歴代校長をはじめゆかりのある人にインタビューする形式で、編集された写真を見ながら開校からの20年を振り返りました。参列者は、当時の映像を見て感慨深く思い出に浸っていました。20周年を記念して催された鑑賞会では、在校児童のアンサンブルによる演奏を皮切りに、地域住民によるハンドベルの演奏やコーラスが、花を添えました。鑑賞会の最後には、成田高校ダンスドリル部が迫力あるチアダンスを披露。躍動感ある演技で見ていた人を楽しませるだけでなく、在校児童全員に振り付けを教えながら一緒に踊る一幕も。華やかなかにも心の温まる式典は、大盛況で閉幕となりました。

東京電力(株)成田支社が防犯灯などを寄贈



▲東京電力(株)成田支社副支社長の松本氏(右)から目録を受け取る山崎市長(中央)と小野寺教育長

去る11月9日、東京電力(株)成田支社から防犯灯5灯と大活字図書一式が寄贈されました。寄贈された防犯灯は、東京電力の電柱に設置し、安全・安心なまちづくりのために役立ちます。また、大活字図書一式は大森図書館に寄贈され、市民の読書推進に役立ちます。岡市民安全課市民安全班(☎内線713)、大森図書館(☎8686)。

北千葉道路建設促進期成同盟が早期整備を要望

北千葉道路建設促進期成同盟(沿線7市で構成)の副会長を務める山崎印西市長は、会長の清水謙ヶ谷市長、出山印西市議会議長らとともに、去る11月5日、民主党や国土交通省、財務省を訪れ、北千葉道路の早期整備を求める要望書を提出しました。

当期成同盟は、国土交通省などに対して、「一般国道464号北千葉道路の印西市から成田市までの事業中間については、事業推進を図るとともに、区間全体の整備を一体的に推進すること」や「東京外かく環状道路と千葉ニュータウンを結ぶ、市川市から鎌ヶ谷市に至る区間の計画の早期具体化を図ること」などについて、要望しました。 圏企画政策課交通政策室(☎内線475・476)。

造園組合が花の鉢植えを寄贈



去る11月10日に、印西市造園組合から、シクラメンなどの鉢植えを寄贈していただきました。

寄贈されたシクラメンなどは、市役所1階ロビーに飾られ、訪れるお客様の目を楽しませてくれています。